

資産運用の状況について

1. 資産運用の目的

長期的な視点から許容し得るリスクの範囲内で安全・確実な運用収益の獲得を目指すことで、内部留保(特定資産・奨学基金)を拡大し、健全な財政基盤を確立することを目的としています。

2. 資産運用の方法

現在は、すべて個別債券で運用しています。2017 年度からは、金利面で有利な外貨建(米ドル、豪ドル)の長期債に投資することによって収益を確保し、為替リスクの低減を図っています。また、投資による社会貢献活動の一環として、ESG 債への投資を行っており、投資リターンを確保しながら持続可能な社会づくりに貢献しています。

※ESG 債：一般に環境改善や社会貢献に何らかの効果のある事業を資金使途とする債券をいう。

ESG は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った言葉です。

3. 2024 年度の資産運用

2024 年度は、女子中高と大学附属高校の冷房設備設置などの設備投資が重なり、運用資産を拡大することができませんでした。運用においては、国内外の金利動向を踏まえて約 7 億円分の債券の入替を行い、運用収益が拡大しました。その一方で、日銀の金融政策の影響で債券価格が下落しており、債券の含み損が懸念材料となっています。

今後も施設設備投資が続くため、運用資産が減少する見通しとなっておりますが、運用収益額を維持できるように運用利回りの向上を図っていきます。

運用資産保有額・運用収益・利回り(各年度末日)						(単位：百万円)	
年度/種別	預金	円貨建債券	外貨建債券	運用資産合計	運用収益	全体利回り	債券利回り
2020	1,564	9,706	1,794	13,064	219	1.66%	1.93%
2021	1,468	10,208	1,794	13,470	250	1.84%	2.17%
2022	1,511	10,306	1,686	13,503	272	1.97%	2.32%
2023	2,323	10,327	1,686	14,336	245	1.73%	2.00%
2024	2,442	10,026	1,988	14,456	257	1.73%	2.11%

※運用収益は各年度のキャッシュフローで表示した

運用資産保有額・資産別割合・全体利回り(各年度末日)

